

令和7年7月に発生した農作業死傷事故

9月のワンポイント

農林水産省HP等による公表

タイトル： コンバインの転倒と死角に要注意！

7月に発生した農作業死傷事故 9月のワンポイント

令和7年度重点推進テーマ

「学ぼう！正しい安全知識

～農業機械作業研修・熱中症対策研修の拡大と充実、
未熟練農業者への研修実施～」

＜7月に発生した農作業死傷事故:62件＞

うち農業機械作業に係るもの:39件

- 7月は25件の死亡事故を含む62件の死傷事故が報告されました。
- 7月の事故のうち、熱中症の疑いがある事故が17件、そのうち死亡事故が7件（うち5件が70歳以上）ありました。6月に続き今年の7月の月平均気温偏差は、1898年の統計開始以降、7月として最も高い値となりました。
- 熱中症の報告事例では、草刈り作業中であつたものが4件報告されています。また、草刈り作業中の事故は別途11件報告があり、真夏の暑さにより注意力が低下していることが要因の一つとして考えられます。作業はきりのいいところまでではなく、20分おきに水分・塩分を補給するなど、休憩時間を定めて作業に取り掛かりましょう。

＜9月のワンポイント＞

- 例年9月から10月にかけての稲の収穫時期はコンバインによる事故が多く発生しています。
- コンバイン事故で多い事故は以下の事例です。
 - ・ 作業中の転落・転倒（農道走行中を含む）
 - ・ 手こぎ作業・詰まり除去作業中の回転部への巻き込まれ
 - ・ 補助者が後退・旋回したコンバインの下敷きに
- 転落・転倒事故については、現場で転落・転倒の可能性のある危険箇所を確認し、ポールなどで目印をつけたり、草を刈って畦が見やすくするなどの対策を実施しましょう。コンバインの大型化に伴い死角が拡大していますので、気を付けてください。
- 手こぎ作業は巻き込まれ事故を防ぐため、手袋・タオルを外して作業しましょう。
- 補助者がひかれる事故については、オペレーターと補助者は作業前に作業手順や合図を確認するとともに、作業中もオペレーターが補助者の位置をしっかりと把握し、お互いに意思疎通しながら作業することが重要です。
- 9月も暑い日が続くと予想されています。引き続き熱中症にも気を付けましょう。

②死角は前方にも

事例

オペレーターは、複数の補助員がコンバインを離れたと思い、発進し下敷き。実際は、死角の位置に補助員が…。



転落・転倒の危険個所の確認！



オペレーターは、補助者の位置を確認！



稲詰まり時は、確実にエンジン停止！



手こぎ中は手袋、タオルを外す！